

北海道深川東高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和5年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	生徒の声を聞き、一人一人のニーズに対応した教育を実践し、自ら考え行動する力を養います。	B	(1) 各行事ごとの事前・事後アンケート調査を実施し、目的意識を持ち自ら考え行動できる力を養います。 (2) 各教科において、継続的なPDCAサイクルを実践した学習形態を確立します。
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	世界と日本（地域）の農業や環境について学ばせ、その違いを理解させます。 滝川市国際交流協会と連携し、農業視察研修の受け入れを実施し、生徒に地球規模の視点に立った考え方を身につけさせます。	B	(1) 農業と環境等の授業により、世界と日本（地域）の農業や環境について学習します。 (2) 英語科、地歴公民科と連携し、一年間を通じた教科横断的な学習プログラムを作成し、展開します。
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	地域の農業関係機関及び農家との連携を図りながら、地域農業の担い手を育てます。	B	(1) インターンシップで、農家委託実習を行い、地域農家の現状や農業の専門知識・技術の習得を図ります。 (2) 各研究班において継続的な調査・研究を行います。
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	地域の農業・風土を理解させると共に、地域の特産品を活用した実習をおこない、地域産業に貢献できる力を育成します。	B	(1) 農業と環境等の授業により、地域の風土を学習します。 (2) 1年生の総合実習で、地域視察研修を行い、地域産業の実態を学習します。
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	地域の緑化活動推進を図り、地域環境保全に興味を持たせます。	A	(1) 農業と環境等の授業により、地域環境の学習を実践します。 (2) 草花等の実習により、地域の花壇造成やプランター設置などを行い創造性を高めます。
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	地域住民及び小学生が、いつでも学校に足を運ぶことができる環境を作り、生徒の向上心が高められるようにします。	A	(1) 深川市が企画しているオープンガーデンに登録し、地域住民に校舎周辺花壇をいつでも開放します。 (2) 小学生対象の青空園芸教室を実施し、植物を育てる楽しさを共有します。
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	深川市の農業関連施設と連携したスマート農業の学習を進めます。ICTを活用し価値を見つけ、生み出す感性や好奇心などの力が高められるようにします。	A	(1) 市内の担い手育成関連施設と連携し、体験学習を行います。 (2) ICTを活用し生育情報収集と考察活動に活用します。
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	農業の多面的機能の活用として、地域防災について学習します。 農業実習における安全教育推進のための学習をおこないます。	B	(1) 土地改良区と連携を図り、頭首工の現場視察を行い、用水路の果たす役割について学ぶと共に、地域防災について考える機会を設けます。 (2) 実習用器具や機械による怪我の未然防止策や熱中症予防対策について学ぶ時間を設けます。